

基人が輝くまちへ

現在市では、だれもが生き生き輝き、笑顔あふれるまちづくりを進めるため、その拠点となる基盤整備に取り組んでいます。特にあいこうか市民ホール、水口スポーツの森陸上競技場の改修、新名神高速道路の甲南パーキングエリアと土山サービスエリアの整備などは、甲賀市の夢あるまちづくりのために重要な事業です。この号では、建設が進むそれらの事業概要を、ご紹介します。

▶幅広いいすを採用したホール内の完成予想図



▶完成間近のあいこうか市民ホール完成予想図

文化・芸術振興の中心施設

—あいこうか市民ホールは10月末完成予定

今年3月末から改修工事が進められているあいこうか市民ホール。市民の皆さんの活動拠点として、その役割は大きく、多くの期待が寄せられています。しかしながら耐震強度や観客席のスペース、舞

台操作などの面で、以前から改修整備を望む声が多くありました。そこで市では、県からの移管直後に改修を計画。バリアフリー対応など、誰もが楽しめるスペースを確保したほか、様々な活動に対応できる空調・舞台設備などの改修事業を進めています。本工事業費は、約3億8,000万円で、ホー

ルの客席は777席（内車いす席6席）で、補助席73席と立見席も設置しています。また、いすは幅54センチと従前よりも6センチ広く、県内の公共施設では最も広いものを採用しました。改修工事は、10月末までに完了、11月にはリニューアルし、より親しみを持っていただける市民ホールとしてオープンします。

全国各地からアスリートが集う地へ

水口スポーツの森陸上競技場は平成21年度完成予定



▶完成後には本格的な陸上競技場へと生まれ変わる

防災公園としても重要施設

また水口スポーツの森は、防災公園としての機能もあり、万一の際には、緊急避難場所となることから、安心・安全なまちづくりの面でも重要な位置づけで工事を進めています。

整備中の陸上競技場内にも備蓄倉庫を備えているほか、競技場と国道307号の間には、貯水槽も設置し、飲料水の確保に努めます。

新名神から甲賀市情報を発信

—新名神高速道路甲南PAと土山SA 来春開通予定

市内約32キロメートルを通る新名神高速道路。来春の開通に向けて、現在着々と工事が進められています。新名神高速道路では、全国でも珍しい市内3か所のインターチェンジに加え、甲南地域には、甲南パーキングエリア（PA）が、また土山地域には、土山サービスエリア（SA）が整備されます。

甲南PAと土山SAでは、甲賀市の情報を発信するほか地元特産物の販売も行う予定です。それぞれの施設は第3セクター方式での運営となり、甲賀市も積極的に参画しています。市では、新名神高速道路の開通をきっかけに、観光客誘



▶工事が進む甲南パーキングエリア



▶土山サービスエリアでは特産物の販売も予定されている

開通記念イベントのお知らせ

新名神高速道路をより身近に感じていただくため、高速道路の本線を使用しハイウェイ・フリーウォーキングを企画しています。イベントの詳細については、甲賀市新名神高速道路開通記念イベント実行委員会にて協議調整中です。詳しくは、本紙10月1日号でお知らせします。

『一足先に歩こうハイウェイウォーク』

日時 11月23日（金）
勤労感謝の日（小雨決行）

平成19年6月1日現在
新名神高速道路の進捗状況
（亀山JCT～草津上IC）
工事進捗率 88%

問い合わせ 国県事業課 ☎65-0726 FAX63-4601



▶昨年完成した甲賀市民スタジアムと多目的グラウンド。甲賀市民スタジアムは9月15日（土）・16日（日）開催の日本スポーツマスターズ2007びわこ大会軟式野球の会場となる。